



## Cisco UCS Manager の使用

---

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco UCS Cisco UCS Central, 1 ページ](#)
- [Cisco UCS Manager GUI を使用して Cisco UCS ドメインを登録, 3 ページ](#)
- [Cisco UCS Manager GUI を使用して Cisco UCS ドメインを登録解除, 3 ページ](#)
- [Cisco UCS Manager CLI を使用して Cisco UCS ドメインを登録, 4 ページ](#)
- [Cisco UCS Manager CLI を使用して Cisco UCS ドメインを登録解除, 5 ページ](#)
- [Cisco UCS Central の IP アドレスの変更, 6 ページ](#)
- [Cisco UCS Manager の IP アドレスの変更, 8 ページ](#)
- [Cisco UCS Central インスタンスの移行, 8 ページ](#)

## Cisco UCS Cisco UCS Central

Cisco UCS Central は、1つまたは複数のデータセンターでの複数の Cisco UCS ドメインの一元管理機能を実現します。Cisco UCS Central は、増大する Cisco UCS 環境にスケーラブルな管理ソリューションを提供するために Cisco UCS Manager を使用します。

Cisco UCS Central では、API などの Cisco UCS Manager のすべてのローカル管理機能を、低減または変更しません。これにより、Cisco UCS Central を使用する以前と同じ方法で Cisco UCS Manager の使用を継続できます。また、既存のすべてのサードパーティ統合は変更せずに引き続き動作することができます。

### Cisco UCS ドメインの登録

Cisco UCS Central から Cisco UCS Manager を管理するには、Cisco UCS Central に Cisco UCS ドメインを登録します。Cisco UCS ドメインは、ドメイングループの一部またはグループ化されていないドメインとして登録できます。ドメイングループを設定すると、そのドメイングループに含まれる登録済みドメインのすべてが、共通のポリシーやその他の設定を共有できます。

完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスを使用して、Cisco UCS Central に Cisco UCS ドメインを登録します。



(注) Cisco UCS Central への初期登録プロセス中に、すべてのアクティブな Cisco UCS Manager GUI セッションが終了します。

Cisco UCS Central でドメインを登録する前に、次の手順を実行します

- Cisco UCS Manager と Cisco UCS Central を確実に同期させるために、双方で NTP サーバおよび正しいタイムゾーンを設定します。Cisco UCS ドメインおよび Cisco UCS Central の日時が同期していないと、登録に失敗する可能性があります。
- Cisco UCS Central のホスト名または IP アドレスを取得します。Cisco UCS Central と Cisco UCS Manager の両方に対して同じホスト名を使用することはできません。スタンドアロンモードの場合、各 VM の IP アドレスを使用します。クラスタモードでセットアップする場合は仮想 IP アドレスを使用します。
- Cisco UCS Central を展開したときに設定した共有秘密を取得します。



(注) • Cisco UCS ドメインを登録する際は、常に Cisco UCS Central の完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用することを推奨します。ドメインが FQDN で登録されていれば、Cisco UCS Central の IP アドレスに変更があっても、その変更はドメインには透過的です。

• ドメイン名を使用して Cisco UCS ドメインを登録する場合は、Cisco UCS Manager によって別の IP アドレスに正常に移行できます。

IP アドレスを使用して Cisco UCS Central に Cisco UCS ドメインを登録する場合は、Cisco UCS Manager によって使用される IP アドレスを変更することはできません。IP アドレスの変更が必要な場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

- Cisco UCS Central を RHEL 7.2 KVM に展開していて、Cisco UCS ドメインを初めて登録する場合は、**set regenerate yes** コマンドを使用して、証明書を再生成する必要があります。
- 登録された Cisco UCS ドメインで Cisco UCS Central からのラウンドトリップが 300 ミリ秒以上遅延する場合、Cisco UCS ドメインのパフォーマンスに影響する可能性があります。
- Cisco UCS Central から Cisco UCS ドメインの登録を解除すると、グローバル サービス プロファイルは Cisco UCS Manager のローカル サービス プロファイルになります。

Cisco UCS Central の IP アドレスの変更の詳細については、[Cisco UCS Central の IP アドレスの変更](#)、(6 ページ) を参照してください。

**警告**

Cisco UCS Central に登録する前に、Cisco UCS Manager をリリース 2.1(2) 以降にアップグレードする必要があります。それよりも前のバージョンの Cisco UCS Manager を登録しようとしても、登録は失敗します。

## Cisco UCS Manager GUI を使用して Cisco UCS ドメインを登録

### 手順

- ステップ 1 Cisco UCS Manager の [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Admin] タブで、[All] > [Communication Management] を展開します。
- ステップ 3 [UCS Central] ノードをクリックします。
- ステップ 4 [Actions] 領域で、[Register With UCS Central] をクリックします。
- ステップ 5 [Register with UCS Central] ダイアログボックスで、次を実行します。
  - a) [Hostname/IP Address] フィールドに、ホスト名または IP アドレスを入力します。  
IP アドレスではなく、ホスト名を使用することをお勧めします。ホスト名を使用するには、DNS サーバを設定する必要があります。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていない場合や、DNS 管理がローカルに設定されている場合、Cisco UCS Manager で DNS サーバを設定します。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されている場合や、DNS 管理がグローバルに設定されている場合、Cisco UCS Central で DNS サーバを設定します。
  - b) [Shared Secret] フィールドに、共有秘密またはパスワードを入力します。
- ステップ 6 [Policy Resolution Control] 領域で、Cisco UCS Central からポリシーまたは設定を管理する場合は [Global] をクリックし、Cisco UCS Manager からポリシーまたは設定を管理する場合は [Local] をクリックします。
- ステップ 7 [OK] をクリックします。

## Cisco UCS Manager GUI を使用して Cisco UCS ドメインを登録解除

**注意**

本稼働システムに登録された Cisco UCS ドメインの登録を解除する場合は、シスコテクニカルサポートにお問い合わせください。

Cisco UCS Central から Cisco UCS ドメインの登録を解除する場合。

- Cisco UCS Central から Cisco UCS ドメインのサービスプロファイル、ポリシー、およびその他の設定を管理することはできなくなります。
- すべてのグローバルサービスプロファイルとポリシーはローカルになり、ローカルエンティティとして機能し続けます。ドメインを再登録しても、サービスプロファイルおよびポリシーはローカルのままです。

## 手順

- 
- ステップ 1 Cisco UCS Manager の [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Admin] タブで、[All] > [Communication Management] を展開します。
- ステップ 3 [UCS Central] ノードをクリックします。
- ステップ 4 [Actions] 領域で、[Unregister With UCS Central] をクリックします。
- ステップ 5 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
- ステップ 6 [OK] をクリックします。
- 

# Cisco UCS Manager CLI を使用して Cisco UCS ドメインを登録

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope system</b>	システム モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A/system # <b>create control-ep policy ucs-central</b>	Cisco UCS ドメイン を Cisco UCS Central に登録するために必要なポリシーを作成します。  <i>ucs-central</i> は Cisco UCS Central が展開されている仮想マシンのホスト名または IP アドレス にすることができます。

	コマンドまたはアクション	目的
		(注) IP アドレスではなく、ホスト名を使用することをお勧めします。ホスト名を使用するには、DNS サーバを設定する必要があります。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていない場合や、DNS 管理がローカルに設定されている場合、Cisco UCS Manager で DNS サーバを設定します。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されている場合や、DNS 管理がグローバルに設定されている場合、Cisco UCS Central で DNS サーバを設定します。
ステップ 3	Shared Secret for Registration: <i>shared-secret</i>	Cisco UCS Central を導入したときに設定された共有秘密 (またはパスワード) を入力します。
ステップ 4	UCS-A/system/control-ep # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

次に、Cisco UCS ドメインを FQDN を使用して Cisco UCS Central システムに登録し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # create control-ep policy UCSCentral.MyCompany.com
Shared Secret for Registration: S3cretW0rd!
UCS-A /system/control-ep* # commit-buffer
UCS-A /system/control-ep #
```

## Cisco UCS Manager CLI を使用して Cisco UCS ドメインを登録解除



注意

本稼働システムに登録された Cisco UCS ドメインの登録を解除する場合は、シスコテクニカルサポートにお問い合わせください。

Cisco UCS Central から Cisco UCS ドメインの登録を解除する場合。

- Cisco UCS Central から Cisco UCS ドメインのサービスプロファイル、ポリシー、およびその他の設定を管理することはできなくなります。
- すべてのグローバルサービスプロファイルとポリシーはローカルになり、ローカルエンティティとして機能し続けます。ドメインを再登録しても、サービスプロファイルおよびポリシーはローカルのままです。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope system</b>	システム モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A/system # <b>delete control-ep policy</b>	ポリシーを削除し、Cisco UCS Central から Cisco UCS ドメインを登録解除します。
ステップ 3	UCS-A/system # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

次に、Cisco UCS Central から Cisco UCS ドメインの登録を解除し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # delete control-ep policy
UCS-A /system* # commit-buffer
UCS-A /system #
```

## Cisco UCS Central の IP アドレスの変更

Cisco UCS ドメインを登録する際は、常に Cisco UCS Central の完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用することを推奨します。ドメインが FQDN で登録されていれば、Cisco UCS Central の IP アドレスに変更があっても、その変更はドメインには透過的です。Cisco UCS Central の IP アドレスの変更は、Cisco UCS Central に完全修飾ドメイン名 (FQDN) がある場合、および Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central ドメイン名を使用して登録されている場合にのみサポートされます。



(注) Cisco UCS Central の IP アドレスの変更は、Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central の IP アドレスを使用して登録されている場合はサポートされません。

## 手順

- 
- ステップ 1 ホスト名に対応する DNS サーバから既存の Cisco UCS Central IP アドレスを削除し、新しい IP アドレスと Cisco UCS Central ホスト名を入力します。
  - ステップ 2 仮想インフラストラクチャ管理プラットフォーム (VMware vCenter など) で、新しいサブネットを指すように仮想ネットワーク インターフェイス (VIF) を変更します。
  - ステップ 3 Cisco UCS Central VM コンソールで、ネットワーク インターフェイスの IP アドレスを変更します。
  - ステップ 4 GUI からホスト名を使用して Cisco UCS Central を起動します。Cisco UCS Central GUI にアクセスできない場合は、Cisco UCS Central CLI から **pmon** コマンドを再起動します。
  - ステップ 5 Cisco UCS Manager GUI で Cisco UCS Central 登録ステータスを確認します。
  - ステップ 6 高可用性の設定では、ノードと仮想 IP の両方の IP アドレスは次の例に示すように、プライマリノードでのみ変更できます。
- 

以下に、ネットワークインターフェイスのスタンドアロンセットアップの場合の例を示します。

Changing IP for a UCS Central system in Standalone mode:

```
UCSC # scope network-interface a
UCSC/network-interface # set net ip 10.10.10.2 gw 10.10.10.1 netmask 255.255.255.0
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session
UCSC/network-interface* # commit-buffer
UCSC/(local-mgmt)# pmon restart
  Shutting down pmon:      [ OK ]
  Starting pmon:          [ OK ]
```

Changing node IP for a UCS Central system in High-Availability mode:

```
UCSC # scope network-interface a
UCSC/network-interface # set net ip 10.10.10.2 gw 10.10.10.1 netmask 255.255.255.0
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session
UCSC/network-interface* # commit-buffer
UCSC # scope network-interface b
UCSC/network-interface # set net ip 10.10.10.2 gw 10.10.10.1 netmask 255.255.255.0
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session
UCSC/network-interface* # commit-buffer
UCSC/(local-mgmt)# pmon restart
  Shutting down pmon:      [ OK ]
  Starting pmon:          [ OK ]
```

Changing virtual IP for a UCS Central system in High-Availability mode

```
UCSC# scope system
UCSC/system # set virtual-ip
  a.b.c.d System IP Address
  ipv6     System IPv6 Address

UCSC/system # set virtual-ip 10.106.227.206
UCSC/system*# commit buffer
```

## Cisco UCS Manager の IP アドレスの変更

Cisco UCS ドメインが IP アドレスを使用して Cisco UCS Central に登録されている場合は、Cisco UCS Manager IP アドレスを変更することができます。次の手順で、Cisco UCS Manager IP アドレスを変更します。

### はじめる前に

ファブリック インターコネクต์が新しいサブネットに接続していることを確認します。

### 手順

- 
- ステップ 1** ホスト名に対応する DNS サーバから既存の Cisco UCS Manager IP アドレスを削除し、新しい IP アドレスおよび同じ Cisco UCS Manager ホスト名を入力します。
  - ステップ 2** プライマリ FI コンソールで、次のコマンドを実行します。

例：

```
UCS-A# scope fabric-interconnect a
UCS-A /fabric-interconnect # set out-of-band ip 10.193.190.61 netmask 255.255.255.0 gw
10.193.190.1
UCS-A /fabric-interconnect* # scope fabric-interconnect b
UCS-A /fabric-interconnect* # set out-of-band ip 10.193.190.62 netmask 255.255.255.0 gw
10.193.190.1
UCS-A /fabric-interconnect* # scope system
UCS-A /system* # set virtual-ip 10.193.190.60
UCS-A /system* # commit-buffer
```

- ステップ 3** 上記のコマンドを実行した後、ホスト名を使用して Cisco UCS Manager を起動し、登録ステータスに変更されていないことを確認します。
  - ステップ 4** Cisco UCS Central CLI の **service-reg** で、**show clients** コマンドが UCS ドメインの新しい IP アドレスを指していることを確認します。
  - ステップ 5** (オプション) IP アドレスが変更されているかどうかを確認するために、Cisco UCS Central から Cisco UCS Manager GUI を起動し、UI の新しい IP アドレスが更新されていることを確認します。Cisco UCS Central GUI からいずれかのグローバルサービス プロファイル ラベルを更新して追加の確認を行い、更新されたラベルが Cisco UCS Manager にプッシュされていることを確認できます。新しいグローバルサービス プロファイルまたはポリシーを作成し、それを Cisco UCS Manager にプッシュして、UI の新しい IP アドレスが更新されていることを確認することもできます。
- 

## Cisco UCS Central インスタンスの移行

データセンターの移行やディザスタ リカバリのユース ケースをサポートするために、Cisco UCS Central インスタンスを移行することができます。Cisco UCS Central インスタンスに正常を移行するには、次の要件を満たしている必要があります。

- Cisco UCS Central の完全修飾ドメイン名 (FQDN) があること。Cisco UCS Central インスタンスを移行する場合、インスタンスの FQDN (ホスト名) は同じままに維持しなければなりません。
- 移行後の Cisco UCS Central インスタンスからも、登録されているすべての Cisco UCS Manager インスタンスに登録時と同じ方法 (ドメイン ホスト名または IP アドレス) で到達できなければなりません。



---

(注) Cisco UCS Central は移行時の Cisco UCS Central の IP アドレスの変更をサポートします。

---

